

令和8(2026)年度事業計画書  
令和8(2026)年度収支予算書

公益財団法人栃木県農業振興公社



# 目次

## 令和8(2026)年度事業計画書

令和8(2026)年度基本方針・組織体制・事業体系	1
公益目的事業1(農業基盤整備事業)	
Ⅰ 農地集積推進事業	3
Ⅱ 畜産・農用地等基盤整備事業	5
公益目的事業2(農業・農村地域を活性化する事業)	
Ⅲ 新規就農者育成確保事業	7
Ⅳ 農業農村活力支援事業	11
Ⅴ とちぎ花センター管理運営等事業	15
Ⅵ なかがわ水遊園管理運営等事業	20
収益事業・その他事業	26

## 令和8(2026)年度収支予算書

Ⅰ 令和8(2026)年度正味財産増減予算書	29
Ⅱ 令和8(2026)年度正味財産増減予算書内訳書	31
Ⅲ 借入金及び借入限度額	33
Ⅳ 基本財産等運用方針	33
Ⅴ 資金調達及び設備投資の見込について	33

※ 公益目的事業とは、公益認定法に定める23種類の公益的な分野に該当する事業で、「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの」である。

# 令和8(2026)年度事業計画書

## 令和8(2026)年度基本方針

公益財団法人栃木県農業振興公社は、栃木県の農業の振興及び潤いと活力に満ちた地域社会の健全な発展に貢献していくため、次期「栃木県農業振興計画」に加えて、昨今の農業を取り巻く様々な情勢変化を踏まえながら各種事業に取り組んでいます。

こうした中、令和8(2026)年度においては、以下の事業を積極的に展開して参ります。

農地集積推進事業では、持続性の高い農業構造の確立に向けて、県や市町等との連携強化と事務の効率化を一層進めることで、地域計画に基づいた農地の集積・集約化を加速して参ります。

畜産・農用地等基盤整備事業では、本県畜産業の更なる発展に向けて、三つの地区で草地造成や施設の整備等を進めることにより、受益農家の計画的な飼料増産や規模拡大、家畜排せつ物等のリサイクルシステムの維持を図るとともに、農家のニーズに的確に応えられるよう意向調査や事業説明会を開催し、新規地区の立上げに取り組んで参ります。

また、農業農村活力支援事業では、農村の稼ぐ力の向上に向けて、農村地域の資源を活用した新たな価値の創出を支援するほか、食とそれを支える農業・農村の大切さの理解促進を図るため、食と農を結ぶ拠点施設であるアグリプラザの機能を活用して、県民意識の更なる醸成に努めて参ります。

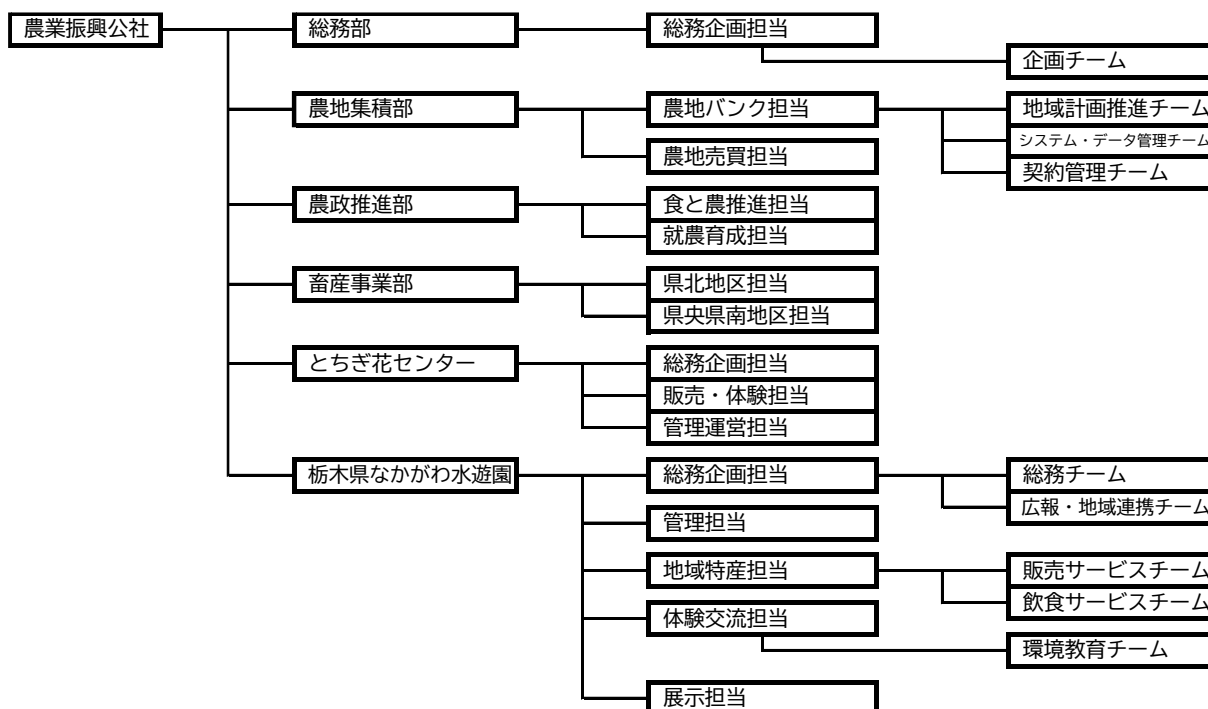
さらに、とちぎ農業経営・就農支援センターとして、市町・農業団体等と連携しながら県内外からの新規就農者の確保育成に取り組むとともに、農業後継者育成基金を活用し、青年農業者への支援に加えて、雇用就農希望者に対し、イメージの醸成から定着まで切れ目ない支援に取り組んで参ります。

指定管理施設のとちぎ花センター、開園25周年の節目を迎える栃木県なかがわ水遊園においては、これまで培ってきた経験を十分に生かし、安全安心で誰もが楽しめる運営に努めるとともに、近隣施設との積極的な連携やSNS等による効果的な情報発信により、地域活性化の拠点施設としての機能を強化して参ります。併せて、収益事業を充実化させることで、公社の運営改善に繋げていきます。

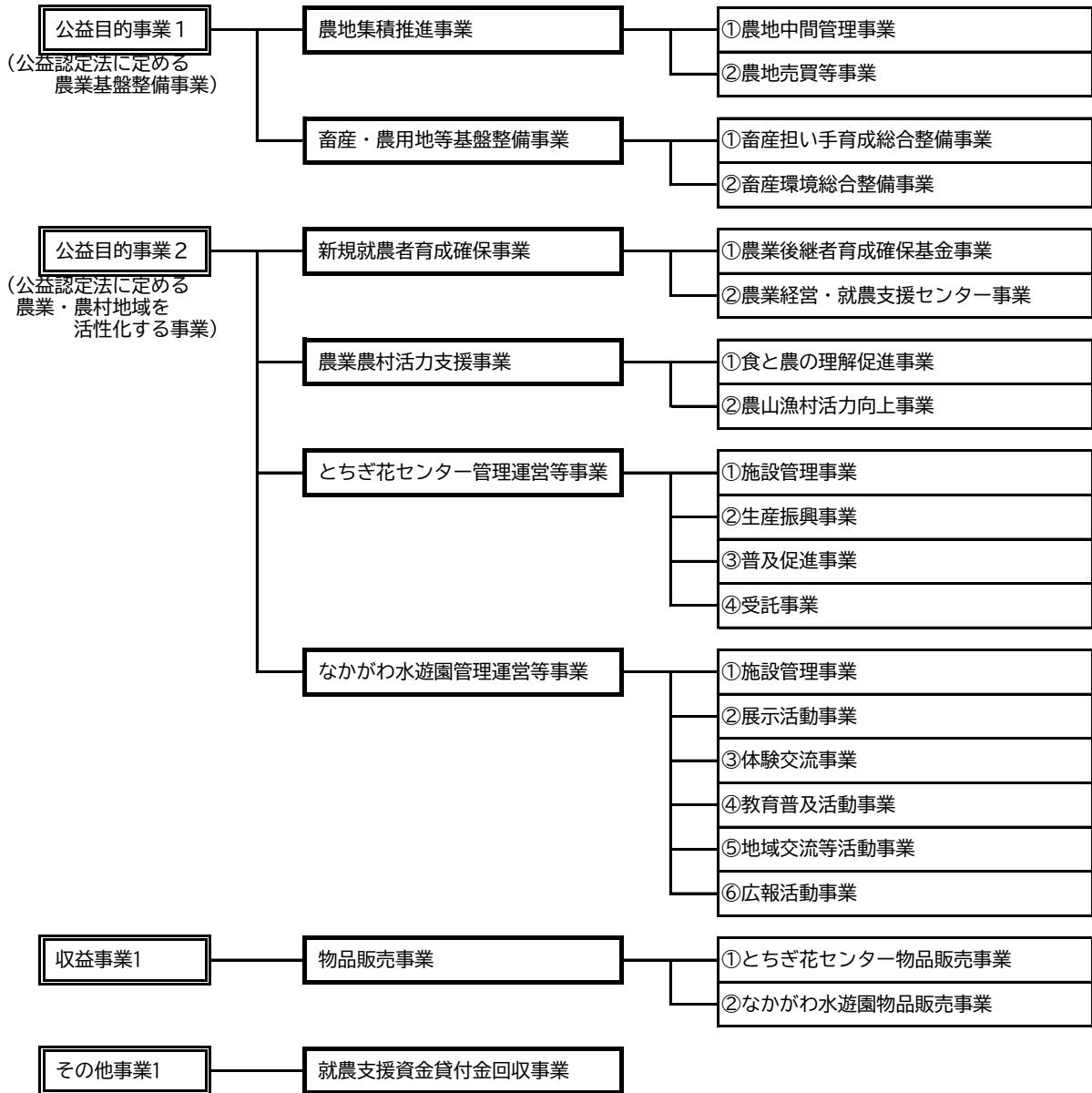
これらの事業を着実に実施していくため、魅力発信や関係機関、団体との連携強化に取り組むとともに、職員の意識改革や職場環境の改善を図ることで、モチベーションの向上に努めて参ります。

## 令和8(2026)年度組織体制及び事業体系

### 1 組織体制



## 2 事業体系



## 公益目的事業 1：農業基盤整備事業

### I 農地集積推進事業

本県は、水田が農地面積の約8割を占めており、農業者の高齢化の進行等を踏まえると、担い手への農地集積を一層加速化していく必要がある。そこで、各市町が策定した地域計画の着実な実行に貢献できるよう、県の「農地の集積・集約化推進プラン」に基づき、農地中間管理事業及び農地売買等事業を計画的に推進し、持続可能な地域営農の実現を目指していく。

#### 1 農地中間管理事業 (公1・1 農地利用集積に関する事業)

県の指定を受けた農地中間管理機構として、地域計画に基づいた農地集積・集約化を一層推進するため、農地を貸借する事業を実施する。また、円滑な事業の推進に向けて、県・市町・関係機関等との連携強化を図るとともに、農地バンク事業の事務スキームの見直しや業務効率化に取り組む。

事業内容	R8計画	R7見込
地域計画に基づき、農地の借入・貸付面積の拡大を図る。	借入・貸付 7,000ha ・新規(移行分含) 5,000ha ・更新、変更 2,000ha	借入 5,200ha 貸付 5,600ha
耕作可能な遊休農地を借受け、再生し、担い手へ貸付けを行う。	遊休農地解消対策事業 18ha	1.8ha
地域計画の実行や課題解決を支援するために市町が整備した推進チームと密接な情報共有の下、相対の利用権からの移行及び農業農村整備事業や広域営農システム構築等の関連事業の活用推進を図る。	市町推進チーム支援 25市町×3回 (・移行状況の共有及び課題解決 ・事業活用先進事例の共有)	25市町×2回
業務委託契約を締結する各市町や市町農業公社等関係機関に対し、農地情報収集及び調整等に係る支援を実施し、一体的な業務推進を図る。	委託先への個別支援 38委託先×3回	38委託先×1回
市町等と連携し、制度の周知徹底を図るとともに、農地の集積・集約化を促進するための課題を、5者協定を締結する関係機関と共有し、改善策を明らかにする。	・事務担当者説明会、機構集積協力員研修会の開催 2回 ・5者協定関係者会議 2回	2回 2回
事務の効率化を図るため、現行システムを検証し、事務スキーム及びシステムを改善する。	・事務手続きの短縮・簡素化 ・業務改善ツールの導入	・手続きの周知 ・システム導入検討

【R2～R7実績 (R7は見込み)】

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
借入	件数(件)	1,923	2,358	2,435	2,778	3,325	9,500
	面積(ha)	1,243	1,418	1,534	1,658	1,902	5,200
貸付	件数(件)	2,049	2,616	2,938	3,350	3,941	9,700
	面積(ha)	1,344	1,617	1,875	1,994	2,254	5,600
借入累計	件数(件)	10,387	12,571	14,822	17,331	19,878	29,000
	面積(ha)	7,224	8,547	9,979	11,481	12,802	17,000

## 2 農地売買等事業 (公1・1 農地利用集積に関する事業)

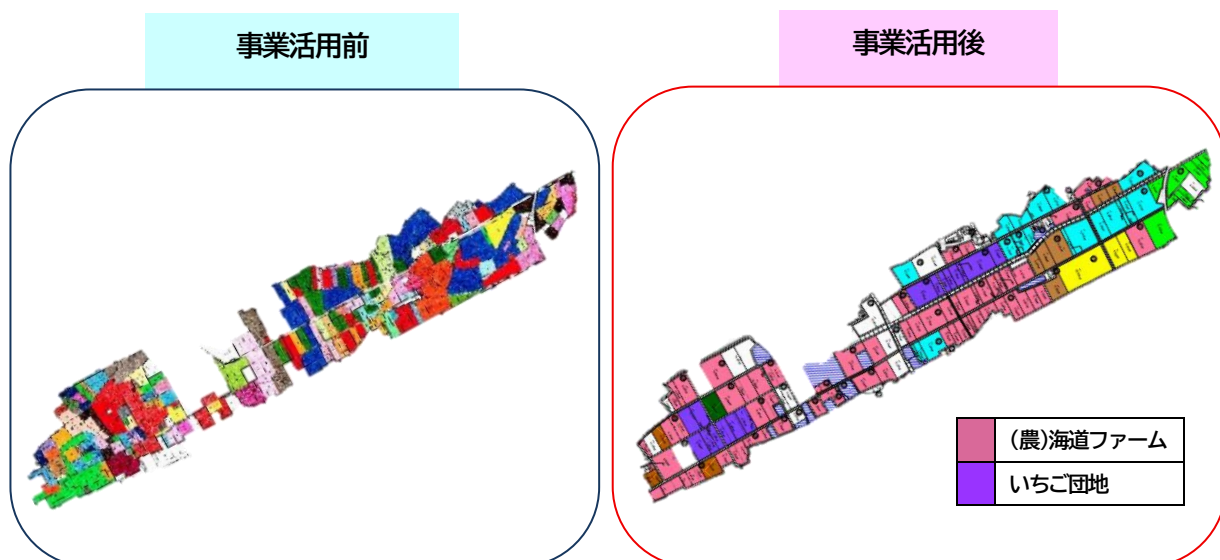
農地中間管理事業の特例事業として、経営規模を縮小する農家から農地を買入れ、規模拡大志向の農家等に売渡しを行うことで、農地集積を促進する。

事業内容	R8計画		R7見込
規模縮小を志向する農家から農用地を買入れ、農用地を一時保有する。	買入件数	325 件	300 件
	買入面積	154ha	140.0ha
	金額	523,125 千円	470,000 千円
規模拡大を志向する認定農業者等に農用地を売渡す。	売渡件数	325 件	368 件
	売渡面積	154ha	192.9ha
	金額	531,422 千円	664,993 千円

### 【R2～R7実績 (R7は見込み)】

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
買入	件数(件)	241	211	232	229	259	300
	面積(ha)	142.1	106.7	117.8	118.3	136.5	140.0
	金額(千円)	645,702	448,047	472,722	449,540	506,130	470,000
売渡	件数(件)	219	208	212	199	195	368
	面積(ha)	137.0	135.6	109.6	122.1	118.0	192.9
	金額(千円)	676,633	594,058	449,355	486,238	439,082	664,993
参考	買入10a単価(千円)	454	420	401	380	375	336

### 【宇都宮市海道地区での農地集積推進事業導入例】



地区内農地面積	70.26ha			
集積面積	導入前	13.4ha	導入後	60.9ha
集積率	導入前	19.1%	導入後	86.6%

## II 畜産・農用地等基盤整備事業

本州一の生乳生産量を誇る酪農をはじめとした本県畜産業の更なる発展を図るため、飼料自給率の向上や畜産農家の持続的な経営基盤の確立を目指し、「畜産担い手育成総合整備事業」により、草地等の造成整備や飼料庫・堆肥舎等の施設整備を行うとともに、担い手育成に向けて、新規地区の立ち上げを推進する。

また、家畜排泄物等の有機資源を活用した地域リサイクルシステムを維持するため、「畜産環境総合整備事業」により、堆肥化施設等の修繕・更新を実施する。

### 1 畜産担い手育成総合整備事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

栃木芳賀地区、栃木那須地区において、県・市町等の関係機関や農業団体と連携し、自給飼料の確保に向けた飼料畑の造成整備を行うとともに、飼料庫や堆肥処理施設等の施設整備を行う。

事業内容	R8計画																						
<p>【栃木芳賀地区】 芳賀管内4市町(真岡市、益子町、市貝町、芳賀町)において、飼料畑の造成整備や施設の整備を行う。 また、事業参加者の変更に伴い実施計画の変更を行う。</p>  <p>「乾燥舎」</p>	<p>【R8】</p> <table> <tr> <td>事業費</td> <td>110,000 千円</td> </tr> <tr> <td>飼料畑造成</td> <td>4.00ha</td> </tr> <tr> <td>飼料畑整備</td> <td>16.01ha</td> </tr> <tr> <td>施設用地造成</td> <td>1.04ha</td> </tr> <tr> <td>乾燥舎</td> <td>1 棟</td> </tr> </table>	事業費	110,000 千円	飼料畑造成	4.00ha	飼料畑整備	16.01ha	施設用地造成	1.04ha	乾燥舎	1 棟												
事業費	110,000 千円																						
飼料畑造成	4.00ha																						
飼料畑整備	16.01ha																						
施設用地造成	1.04ha																						
乾燥舎	1 棟																						
<p>【栃木那須地区】 那須管内1市(那須塩原市)において、飼料畑の造成整備や施設の整備を行う。 また、事業量及び事業費の要望増を踏まえ、実施計画の変更を行う。</p>  <p>「飼料畑造成」</p>  <p>「飼料庫」</p>	<table> <tr> <td>【R7繰越】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>59,498 千円</td> </tr> <tr> <td>堆肥舎</td> <td>1 棟</td> </tr> <tr> <td>【R8】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>338,000 千円</td> </tr> <tr> <td>飼料畑造成</td> <td>3.30ha</td> </tr> <tr> <td>飼料畑整備</td> <td>7.20ha</td> </tr> <tr> <td>施設用地造成</td> <td>0.50ha</td> </tr> <tr> <td>飼料庫</td> <td>1 棟</td> </tr> <tr> <td>堆肥舎</td> <td>1 棟</td> </tr> <tr> <td>排水処理設備</td> <td>1 式</td> </tr> </table>	【R7繰越】		事業費	59,498 千円	堆肥舎	1 棟	【R8】		事業費	338,000 千円	飼料畑造成	3.30ha	飼料畑整備	7.20ha	施設用地造成	0.50ha	飼料庫	1 棟	堆肥舎	1 棟	排水処理設備	1 式
【R7繰越】																							
事業費	59,498 千円																						
堆肥舎	1 棟																						
【R8】																							
事業費	338,000 千円																						
飼料畑造成	3.30ha																						
飼料畑整備	7.20ha																						
施設用地造成	0.50ha																						
飼料庫	1 棟																						
堆肥舎	1 棟																						
排水処理設備	1 式																						

## 2 畜産環境総合整備事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

茂木地区において、平成15年運転開始の家畜排泄物や生ゴミ等を活用した堆肥化施設(美土里館)の長寿命化を図るため、建物や機械設備の修繕や更新を行う。

事業内容	R8計画
<p>【茂木地区】 茂木町が運営する堆肥化施設「美土里館」の機能保全対策工事を行う。</p>  <p>「乾燥棟」</p>  <p>「脱臭棟」</p>	<p>【R7繰越】</p> <p>事業費 50,000 千円 乾燥棟 2,310 ㎡ 二次発酵棟設備 1 式</p> <p>【R8】</p> <p>事業費 152,000 千円 原料投入棟 195 ㎡ 脱臭棟 393 ㎡ 液肥化施設 167 ㎡ 乾燥棟設備 1 式 脱臭棟設備 1 式 液肥化設備 1 式</p>

## 3 総括表

(単位 千円)

事業名	地区名	事業期間	全体事業費	～R7	進捗率	R8	R9～
畜産担い手育成総合整備事業	栃木芳賀	R4～R9	1,098,059	815,259	74.2%	110,000	172,800
	栃木那須	R6～R10	994,530	52,194	5.2%	397,498	544,838
	計		2,092,589	867,453	41.5%	507,498	717,638
畜産環境総合整備事業	茂木	R6～R8	621,413	419,413	67.5%	202,000	—
合計			2,714,002	1,286,866	47.4%	709,498	717,638

## 4 新規地区の立ち上げ

畜産担い手育成総合整備事業の令和10年度からの新規地区実施を目指し、関係機関との連携を強化しながら、上都賀地区を中心に、意向調査や事業説明会を通じて地域の合意形成を図り、候補地区を選定する。

## 公益目的事業2：農業・農村地域を活性化する事業

### Ⅲ 新規就農者育成確保事業

「農業やるなら栃木県」の実現に向けて、県、関係機関と連携した就農相談会等の開催を通じて、新規就農者の確保や農ある暮らし希望者等の多様な人材の呼び込みを図る。

また、地域農業の中核を担う農業者等を、高い生産性と収益性を有する効率的かつ安定的な農業経営体へと発展させていくため、専門家派遣等による伴走型支援を行う。

#### 1 農業後継者育成確保基金事業

県・市町・農業団体・農業者等の協力で造成された農業後継者育成基金の運用益を活用し、青年農業者等の資質向上に向けた取組に加えて、雇用就農希望者のチャレンジ就農を支援することで、本県農業を担う優れた農業後継者の確保育成を図る。

##### (1) 国際化対応サポート事業 (公2・1 自主事業)

国際化に対応できる農業者を育成するため、青年農業者等の海外農業研修を支援するとともに、海外短期派遣研修事業を実施する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【海外短期派遣研修事業】</p> <p>国際感覚を身に付け、自らの経営発展はもとより地域に貢献できる青年農業者等の育成を目的として R9 海外短期派遣研修生（隔年開催に変更）を募集する。</p>     <p>「令和7年度フランス・イタリア8日間研修」</p>	<p>研修生募集 15名</p>	<p>12名</p>
<p>【海外長期研修支援事業】</p> <p>知事の推薦を受けた青年農業者等が概ね1年以上の農業実習等を行う海外農業研修を支援する。</p>	<p>研修生 1名</p>	<p>2名</p>

(2) 担い手チャレンジ支援事業 (公2・1 自主事業)

農業の担い手としての資質向上を図るため、青年農業者等を対象として農業に関する技術開発や課題解決の新たな取組等を支援する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【経営発展活動支援事業】</p> <p>県が重点を置く農政課題テーマについて、県と青年農業者が連携して行う調査研究等を支援する。</p> <p>また、農業高校生グループを対象に、地域農産物を活用した新たな取組等について支援する。</p>	<p>支援対象 4件 (うち農業高校生グループ2件)</p>	2件

(3) 組織活動サポート事業 (公2・1 自主事業)

青年農業者等の組織活動の活発化を図るため、自主的に取り組む組織活動や地域貢献活動・婚活イベント等の取組を支援する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【組織活動支援事業】</p> <p>県4HC協議会が行う組織活動の促進や全国組織等が行う研修会に参加する青年農業者等の支援、青年農業者と消費者の交流を深めるための活動などを支援する。</p> <p></p> <p>「農家のまごころ込めて大感謝祭」</p>	支援対象 1件	1件
<p>【青年農業者地域貢献支援事業】</p> <p>地区・市町4HC協議会が行う地域貢献活動や子供たちへの農業の理解促進活動、婚活イベントなどの取組を支援する。</p>	支援対象 3件	0件

(4) 新規雇用就農促進事業 (公2・1 自主事業)

新規雇用就農者のさらなる確保・育成を図るため、農業インターンの実施による就農イメージの醸成から、体験就業、正社員として定着するまで切れ目のない支援を実施する。



事業内容	R8計画	R7見込
<p>【マッチング支援事業】</p> <p>45歳未満の雇用就農希望者が農業インターンを実施する際の体験費用を農業法人等に支援する。</p>	雇用就農インターン 15名	8名
<p>【チャレンジ雇用支援事業】</p> <p>就農希望者が短期間(1か月以上3か月未満)のチャレンジ就農を実施する際の賃金を農業法人等に支援する。</p>	チャレンジ就農 5名	3名
<p>【雇用就農定着支援事業】</p> <p>チャレンジ就農後、正社員として期間の定めのない雇用契約を締結し3か月経過した雇用就農者に定着支援資金を支援する。</p>	雇用就農者 5名	0名

## 2 農業経営・就農支援センター事業

県内外から独立自営就農や雇用就農、農ある暮らし希望者など多様な人材を対象として、就農相談や就農啓発イベントを実施するとともに、自らの経営発展を志向する農業者に、各種専門家の派遣によるアドバイス等の支援を行う。



### (1) 意欲ある新規就農者等の確保育成事業 (公2・2 受託事業)

「とちぎ農業経営・就農支援センター」の拠点として、本県農業の新たな担い手を確保するため、就農希望者に就農相談等を実施するとともに、自らの経営発展に課題を抱える農業者に対して専門家派遣によるアドバイスを行う。

事業内容	R8計画	R7見込
<p><b>【就農・経営相談事業】</b>            新規就農相談に随時対応するとともに、多様な相談ニーズへ対応するため、午後5時以降の「アフター5就農相談（事前予約制）」やトチノフェア、移住部局と連携した就農・移住セミナー等を開催する。また、経営発展を志向する農業者に対し、専門家を派遣する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「トチノフェア 2025 夏」 「新規参入現地セミナー」</p>	トチノフェア 2回 150名 就農・移住セミナー 1回 15名 現地セミナー 1回 20名 相談件数 300件 (オンライン含む) アフター5就農相談(新規) 20回 20名 専門家派遣数 延べ70回	2回 125名 1回 9名 1回 16名 270件 - 60回

### (2) 農業で働く人材確保・定着支援総合対策事業 (公2・2 受託事業)

県内外から農ある暮らしや雇用就農など農業で働く多様な人材を呼び込み、地域への定着を図るため、希望者のニーズに応じたオーダーメイド型の支援を行う。

事業内容	R8計画	R7見込
<p><b>【雇用就農者確保育成事業】</b>            県外での雇用就農相談会における農業法人の出展支援や県内の法人現地見学会を実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「新・農業人フェア LIVE」 「農業法人見学ツアー」</p>	県外雇用就農相談会 2回 20名 農業法人見学ツアー 2回 40名	2回 15名 2回 27名

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【オーダーメイド型支援体制構築事業】</p> <p>首都圏での移住定住イベント等を活用した相談会への出展や県外出張相談を実施する。</p> <p>また、農業インターンの実施や「農ある暮らし」の希望者に対してアドバイザー派遣等を行う。</p>	<p>首都圏相談会 3回 60名</p> <p>県外出張相談（新規） 1回 5名</p> <p>農業インターンシップ 15名</p> <p>アドバイザー派遣数 延べ 10回</p> <p>農作業体験会 2回 30名</p>	<p>3回 57名</p> <p>—</p> <p>5名</p> <p>6回</p> <p>2回 26名</p>
 <p>「農作業体験会」</p>  <p>「オンライン交流セミナー」</p>		
 <p>「農ある暮らしセミナー」</p>  <p>「農業インターン」</p>		

(3) 農業人材育成総合対策事業 (公2・1 自主事業)

次世代を担う農業者を確保・育成するため、就農前の研修期間（2年以内）の生活安定に資する資金（年間最大 150 万円）を交付し、円滑な就農を促進し、定着に向けたサポートを行う。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【新規就農者育成総合対策(就農準備資金・就農準備支援資金)】</p> <p>県が認める研修機関で研修を受ける者に、研修期間中の生活安定に資する資金を交付する。</p>	<p>交付対象者数 17名</p> <p>新規 13名</p> <p>継続 4名</p>	<p>18名</p> <p>新規 13名</p> <p>継続 5名</p>

【H28～R7事業実績】

年度	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
継続対象者数	11	6	10	3	0	2	4	4	5
新規採択者数	40	32	13	12	9	14	21	26	13
交付金額(千円)	80,875	64,875	31,125	26,400	13,250	23,000	35,625	43,625	24,125

※H29～R3は農業次世代人材投資事業（準備型）、R4～R7は新規就農者育成総合対策。

## IV 農業農村活力支援事業

命の源である「食」と、これを支える「農業・農村」の大切さを一人でも多くの県民へ伝えるため、農業農村体験を通じた理解促進を図るとともに、農村の稼ぐ力を強化するため、地域資源の活用による地域の魅力と稼ぐ力を最大限引き出す取り組みを支援する。

### 1 食と農の理解促進事業

食と農の理解の幅広い意識醸成に向けて、県や関係農業団体、食育ボランティア「とちぎ食育応援団」と連携し、食と農を結ぶ交流拠点である「とちぎアグリプラザ」を核として、各種講座の開催や食と健康を伝える食育活動等を実施する。

#### (1) とちぎアグリプラザ管理運営事業 (公2・1 自主事業)

食料・農業・農村に対する理解を深める活動の拠点となるとちぎアグリプラザを適切に管理・運営するとともに、利用拡大に向けた「食と農の交流室利用促進」等に取り組む。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【とちぎアグリプラザの管理運営】</p> <p>(地上3階、延床面積1,804.72㎡)</p> <p>食と農に関する相談及び情報提供を行う。</p> <p>「交流イベント」</p> 	<p>適正な施設管理と利活用の推進</p> <p>アグリプラザ利用者 7,500人</p>	7,500人

#### (2) 食と農の理解促進プロモーション事業 (公2・1 自主事業)

食と農の重要性の理解と関心を深める情報を発信するとともに、県産農産物を題材とした体験型の講座やイベント、企業福利厚生としての体験講座等を実施する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>県産農産物について収穫体験や調理体験など、年間を通じた「とちぎ食と農のファン拡大体験講座」のほか、企業福利厚生事業として体験講座を開催する。</p>   <p>「ファン拡大体験講座」 「企業福利厚生事業」</p> <p>また、食と農の大切さを学ぶ体験型イベント「食と農体験DAYinアグリプラザ(仮称)」を開催する。</p>	<p>ファン拡大体験講座 3回10組 延べ60名</p> <p>企業福利厚生事業 3回60名</p> <p>食と農イベント(新規) 来場者 150名</p>	<p>4回12組 延べ106名</p> <p>1回23名</p>
<p>「食育推進全国大会 in とちぎ」のほか、県や農業団体等が開催する各種イベントでPR活動を実施する。</p>  <p>「食育イベントへの出展」</p>	PR活動 8回	7回

(3) とちぎ食育応援団活用促進事業 (公2・2 受託事業)

食育を継続的に推進するため、「とちぎ食育応援団※」と連携した食育出前講座や農業の現場を見て学ぶ食農体験講座を開催するほか、団員の資質向上や食育の普及拡大を目的とした情報発信を行う。

※食と農の知識を活かし、食文化、県産農産物の調理方や食と健康などを伝える活動をするボランティア

事業内容	R8計画	R7見込
<p>未就学児等を対象にした保育施設における「とちぎっ子食育出前講座」へ応援団を派遣する。また、新大学生・新社会人等を対象にした「企業・大学向けとちぎ食育出前講座」を開催する。</p>  <p style="text-align: center;">「大学での出前講座」</p>	<p>応援団員派遣 50回</p> <p>企業大学向け食育出前講座 5回</p>	<p>応援団員派遣 57回</p> <p>企業大学向け食育出前講座 4回</p>
<p>無関心層から関心層まで幅広い層へ食育を推進するため、食と農に関する体験講座を開催する。</p>  <p style="text-align: center;">「食農体験講座」</p>	<p>食農体験講座 3回 延べ45名</p>	<p>食と農実践講座 4回 延べ85名</p> <p>※食と農理解促進プロジェクト事業として実施</p>
<p>食育活動のPRや情報提供等のための情報誌「とちぎ食育応援団だより」を作成し、保育施設、応援団員、関係機関等へ情報発信を行う。</p>  <p style="text-align: center;">「応援団だより 30号 (令和8年3月発行)」</p>	<p>発行 1回</p>	<p>1回</p>
<p>とちぎ食育応援団の募集、登録事務及び登録証の作成等を行う。</p>   <p style="text-align: center;">「応援団登録証」</p> <p style="text-align: center;">「募集チラシ」</p>	<p>応援団員数</p> <p>総数 80名 内新規 10名 継続 70名</p>	<p>総数 70名 内新規 7名 継続 63名</p>

## 2 農山漁村活力向上事業 (公2・2 受託事業)

農業者等による6次産業化の取組に加えて、農業と他分野との連携による新ビジネスの創出等により、農村地域や農林漁業者等の稼ぐ力を強化するため、専門家の派遣や人材育成、DXによる情報発信などにより総合的なサポートを行う。

### (1) とちぎ地域資源活用・地域連携サポートセンター運営事業 (公2・2 受託事業)

地域資源等を活用し、新たな価値の創出に取り組む方々への相談窓口を設置するとともに、経営全体の付加価値を高めるため、県や市町、農業団体と連携して支援を行う。

また、新たな農業や地域活性化の取組を創造できる優れた経営感覚の農業者等を育成するため、ニーズに即した研修会等を開催する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>地域資源を活用した所得の向上や6次産業化への取組支援として、とちぎ地域プランナー等を派遣し、経営改善戦略など計画達成に向けた支援を行う。</p>  <p>「支援対象者へのプランナー派遣」</p>	<p>支援対象者 9名</p> <p>プランナー派遣 30回</p>	<p>支援対象者 8名</p> <p>重点支援対象者 1名</p> <p>44回</p>
<p>現地研修を含めた「とちぎ地域資源活用・価値創出実践セミナー」を開催する。</p>  <p>「現地研修」</p>	<p>実践セミナー 4回 延べ80名</p>	<p>共通 2回</p> <p>基礎編 3回</p> <p>実践編 3回</p> <p>13名</p> <p>※連続講座</p>



### (2) とちぎ地域資源活用・地域連携情報発信事業 (公2・2 受託事業)

DXによる情報発信力の強化・充実を図るため、専門家相談を実施し、県内外販路のマッチングや農業者へのアドバイス等の支援を行う。

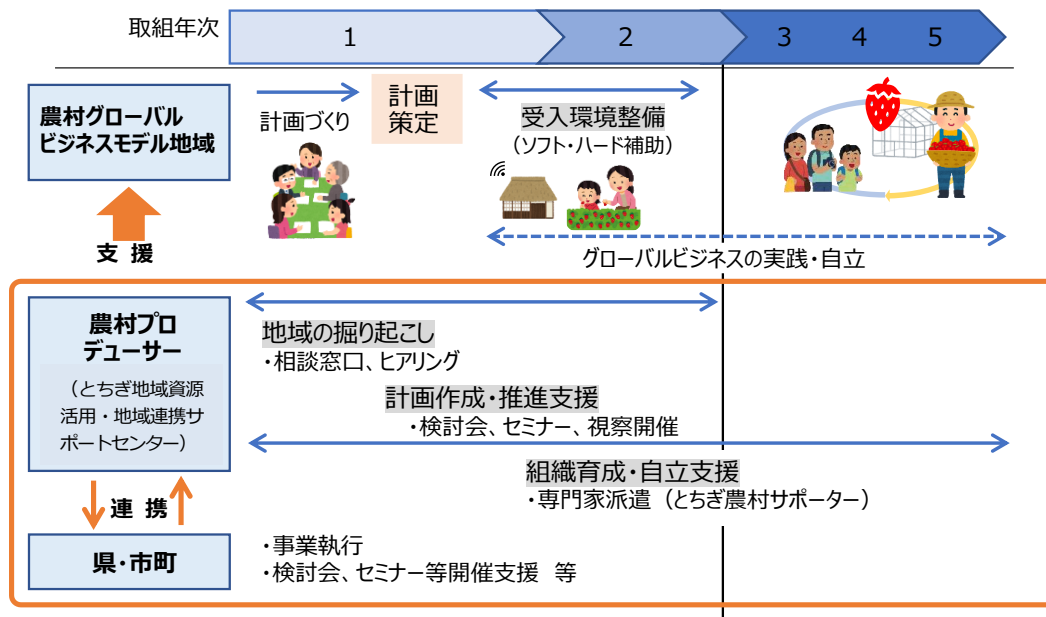
事業内容	R8計画	R7見込
<p>地域活性化や6次産業化に取り組む農業者等に対し、商品開発等の専門家との相談支援や事業・取組に関する情報発信の強化・充実を行う。</p>  <p>「情報発信ホームページ」</p>	<p>専門家による相談 5回</p>	<p>4回</p>

(3) 農村グローバルビジネス創出支援事業 (公2・2 受託事業)

農村地域における収益向上のため、農村プロデューサーを設置し、インバウンド需要に対応したグローバルビジネス創出や農泊経営等に向けた取組を支援する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>地域のグローバル化や収益向上に取り組む地域に、農村プロデューサーを派遣し、地域資源を活用した新たな農村ビジネスの実現を支援するとともに、地域の課題解決等のために農村サポーターを派遣する。</p>  <p>「農村サポーターによるワークショップ」</p>	<p>支援モデル地域 3地域</p> <p>新規支援モデル 地域 1地域</p>	<p>1地域</p> <p>2地域</p>
<p>農家民宿の開業や農業体験の実践に向けた地域セミナー等を開催する。</p>  <p>「農家民宿開業セミナー」</p>	<p>農泊セミナー等 6回 90名</p>	<p>4回 69名</p>

【農村地域のグローバルビジネス創出等支援】



## V とちぎ花センター管理運営等事業

本県における花の生産振興と花とのふれあいによる心豊かな人づくりを目的に、県が設置した「とちぎ花センター」の管理運営業務を実施する。

運営に当たっては、指定管理申請の基本方針に基づき「生産者との連携による生産振興」と「花とのふれあいによる普及促進」、「栃木県の魅力発信による地域活性化」の3本の柱を軸として取り組むとともに、開花状況やイベント情報を SNS 等で効果的に発信し、認知度と魅力の向上を図り、県内外からの誘客を促進し、地域活性化につなげていく。



### 1 施設管理事業 (公2・3 指定管理事業)

- (1) 管理建物 鑑賞大温室・展示温室他 17 棟 6,397 m<sup>2</sup>  
 (2) 敷地 花壇等 2.64ha

事業年度	利用者目標		開園日数
	入園者	鑑賞大温室入館者 (うち有料入館者)	
令和8年度計画	320,000 人	45,000 人 (33,000 人)	310 日
令和7年度見込	290,000 人	43,000 人 (32,000 人)	310 日

### 2 生産振興事業 (公2・3 指定管理事業)

本県の花の生産振興に向けて、「シクラメン&冬の鉢花展覧会」や季節ごとに県産切り花をPRするアレンジメント飾花を行うとともに、消費者への花き情報発信や家庭で楽しむ花の利活用方法の提案を行う。将来の農業の担い手である中学生や農業高校生のインターンシップや体験、研修の場を提供する。

また、花センターを会場にした生産者による管理講習や直売イベントを開催し、生産者と消費者の交流促進を図る。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【秀品花き展示】</p> <p>各種展覧会入賞者の生産物等、優れた県産花きの紹介とPRを行う。</p>  <p>「早春のアレンジメント」</p>	<p>展示回数 4回</p> <p>5月 春のアレンジメント</p> <p>10月 秋のアレンジメント</p> <p>12月 シクラメン&amp;冬の鉢花展覧会</p> <p>1月 早春のアレンジメント</p>	5回

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【県農業総合研究センターとの連携】 あじさいやリンドウなどの本県オリジナル品種の発表展示のほか、試験研究成果や新技術の展示紹介を行う。</p>  <p>「県オリジナル品種のアジサイの展示」</p>	<p>展示紹介 2回 5月 アジサイ展 6月 リンドウ展示</p>	<p>2回</p>
<p>【実証展示】 生産者や種苗会社、各団体と連携し、県内で生産が予定される切花用ユリの品種展示を行い、品種特性や育てやすさなどの情報の提供を行う。</p>  <p>「ユリの品種展示」</p>	<p>展示回数 1回 6-7月 スカシユリ</p>	<p>1回</p>
<p>【活力ある花き生産の推進】 中学生や農業高校生に対して、花き生産に関わる体験や研修の場を提供する。 若手生産者組織のイベントや交流会の場として提供する。</p>  <p>「インターンシップ」</p>	<p>インターンシップ 3校 (中学校、農業高校) 生産者イベント 4回 4月 洋蘭 5月 アジサイ 12月 シクラメン 1月 シンビジウム他</p>	<p>3校 4回</p>
<p>【生産者と消費者の交流】 生産者と消費者の相互理解と交流の促進を図り、県産花きの紹介・普及に取り組むため生産者によるフラワーカレッジや直売等の交流イベントを開催する。</p>  <p>「生産者による講習会」</p>	<p>直売会および講習会 3回 9月 スプレーマム 11月 クリスマスローズ 2月 洋蘭</p>	<p>3回</p>

### 3 普及促進事業 (公2・3 指定管理事業)

栃木県の花の拠点施設として、県産花きをPRするため、アートな空間を創出する飾花展示や五感で楽しむ学べる展示等を開催する。また、鑑賞大温室やバラ園、花壇など「感動し魅了される空間」を提供するとともに、植物をテーマとした体験型の教室や花育活動、園芸福祉活動に取り組み、花とのふれあいによる感動体験を提供する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【鑑賞大温室第1企画展示室企画展】</p> <p>次のとおり開催する。</p> <p>① 青バラの父小林森治展 ② アジサイ展 ③ 植物ラボ展 ④ ポインセチア展 ⑤ 洋ラン展</p>  <p>「洋ラン展」</p>	<p>企画展開催 5回</p> <p>① 4～5月 26日 5,500人 ② 5月 20日 6,900人 ③ 7～8月 38日 3,600人 ④ 11～12月 32日 3,200人 ⑤ 1～4月 73日 9,000人</p>	<p>6回</p> <p>アジサイ展 6,880人 きのみと外展 3,978人 食虫植物展 4,056人 多肉とサボ展 4,676人 ポインセチア展 3,049人 洋ラン展 7,800人</p>
<p>【鑑賞大温室第2企画展示室企画展】</p> <p>次のとおり開催する。</p> <p>① ヒスイカズラごり押し展 ② まめつたね展 ③ 冬の鉢花展覧会</p>  <p>「ヒスイカズラごり押し展」</p>	<p>企画展開催 3回</p> <p>① 4～6月 62日 16,000人 ② 9～11月 55日 4,600人 ③ 11～12月 17日 1,600人</p>	<p>6回</p> <p>ヒスイカズラごり押し展 14,351人 アルのタネはコレ展 20,902人 植物ラボ展 3,288人 すみ展 5,057人 冬の鉢花展 1,739人 第6回写真展 8,500人</p>
<p>【花壇の植栽】</p> <p>① 大花壇 ボランティアなど県民参加による「みんなの花壇」として、テーマに沿った植栽を行う。</p> <p>② ローズガーデン R7にオープンした新エリア「秘密の花園」を含め600品種のバラ園の維持管理を行う。</p> <p>③ 中小花壇 フォトスポットとして映える華やかな花壇や、家庭でも参考となる見本花壇として植栽する。</p>  <p>「ボランティアのバラ園管理」</p> <p>④ ボランティアとの協働 バラの専門的な管理を行う「ローズクラブ」と、どなたでも参加できる園内花壇の植栽や園内整備を行う「とちはなクラブ」と協働で管理を行う。</p>	<p>① 植栽回数 3回 計 30,000株</p> <p>② 日平均入園者数 春 2,200人 秋 1,200人</p> <p>③ 植栽回数 2回 計 2,000株</p> <p>④ 協働回数 延べ 101回 2,000名</p>	<p>3回</p> <p>春 2,108人 秋 1,098人</p> <p>2回</p> <p>延べ 98回 2,000名</p>

事業内容	R8計画	R7見込
<p><b>【体験教室】</b></p> <p>① 体験教室の開催            専門知識を有する職員が季節に応じ、植物に親しむ入門的な内容から専門技術の習得まで、多様な教室を実施し、植物の普及に努める。</p>  <p>「寄せ植え体験」</p> <p>② 花育教室の開催            子供や親子を対象に花とふれあうきっかけとなる教室を、第3日曜日の家庭の日に合わせて開催する。</p>	<p>① 開催回数 15回            360名</p> <p>② 開催回数 5回            120名</p>	<p>15回            300名</p> <p>5回            100名</p>
<p><b>【イベント開催】</b>            花の季節や地域と連携したイベントを開催する。</p> <p>① ヒスイカズラフェスタ            ② ローズフェスタ            ③ ハロウィン&amp;ローズフェスタ            ④ フラワークリスマス            ⑤ 新春の花まつり            ⑥ 早春の花まつり            その他ミニイベントを開催する。</p>  <p>「ローズシャワー」</p>	<p>開催回数 6回</p> <p>① 3～5月 40日開催            ② 5月 22日開催            ③ 10～11月 45日開催            ④ 12月 14日開催            ⑤ 1月 9日開催            ⑥ 2～4月 49日開催</p>	<p>6回</p>
<p><b>【園芸福祉活動】</b>            特別支援学校や障がい者施設と連携し、園内案内や体験活動を通して、植物の持つ癒しの力を活用し、心身の安定と交流の場を提供する。</p>	<p>園内案内や体験の要望に対して積極的に対応</p>	

**4 受託事業** (公2・3 指定管理事業)  
 花育や花の普及を図るため、次の業務を受託する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p><b>【ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業】</b>            花きの需要拡大を目的とした事業を受託し、来園者や一般消費者が花に親しむきっかけづくりや、花の持つ多様な効果を学習する活動に取り組む。</p>	<p>園芸体験 9回 450名</p>	<p>7回 300名</p>

## 5 広報活動

とちぎ花センターの様々な情報を的確かつ効果的に発信し、認知度向上及び集客促進を図る。隣接するみかも山公園やみかも自然の家を含む「みかも山東エリア会議」の構成員として、これまで以上に幅広い方々に花センターの魅力や地域の情報を届けるため、公式ホームページを中心に、SNSを活用する。

また、より魅力的な施設となるため、意見箱の設置や来園者アンケートにより利用者ニーズを収集し、サービス向上及び改善に努める。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【メディア等への情報提供】</p> <p>① 新聞記事            (下野新聞、東京新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本農業新聞、栃木南部よみうりタイムス、桐生タイムス)</p> <p>② テレビ、ラジオ            (NHK、日本テレビ、テレビ朝日、TBS、とちぎテレビ、FMとちぎ、栃木放送、とちぎケーブル、佐野ケーブル)</p>	<p>発信提供 38回</p>	<p>36回</p>
<p>【ホームページ・SNS】</p> <p>入館促進を図るため、HPや各種SNSを活用して、幅広い世代やエリアに情報発信を行う。</p>  <p>「ホームページ」</p>  <p>「X」</p>  <p>「Instagram」</p>	<p>HP表示回数 100,000回</p> <p>X            フォロワー数 13,000人            年間投稿数 330回</p> <p>Instagram            フォロワー数 4,300人            年間投稿数 520回</p>	<p>95,000回</p> <p>12,040人            310回</p> <p>3,642人            500回</p>

## VI なかがわ水遊園管理運営等事業

那珂川の豊かな水と緑に親しみ、水生生物とふれあえる場を提供することで、沿川地域の自然と文化に対する県民の理解を深め、都市と農村の交流を促進することを目的とする。指定管理申請の基本方針に基づき、「地域に人が集まり」、「地域と共に行動し」、「地域の未来を拓く」をキャッチフレーズに掲げ、開園 25 周年を迎える今年度を地域の持続的発展のための新たな節目として位置づける。各事業に取り組むことで、安全・安心で誰もが楽しめる広域観光拠点として、県民ニーズを踏まえた沿川地域の活性化と持続的な発展に寄与する。さらに、滞在型観光、地域内周遊を促進するため、オリジナリティのある展示や体験のほか、周辺の観光情報などを SNS や Web 広告等を活用して発信し、利用者層のエリア・年代の拡大を図る。



### 1 施設管理事業 (公2・3 指定管理事業)

- (1) 管理建物 おもしろ魚館(展示ゾーン及び体験交流ゾーン) 約 6,000 m<sup>2</sup>
- (2) 公園施設 芝生広場・お魚ふれあいステーション・水の広場・公園サービスステーション 約 250,000 m<sup>2</sup>



事業年度	おもしろ魚館入館者目標		開館日数(開園日数)
	入館者	うち有料入館者	
令和8年度計画	270,000 人	186,600 人	309 日(309 日)
令和7年度見込	265,000 人	175,000 人	310 日(310 日)

#### 【公園利用者の拡充】

事業内容	R8計画
【フォトスポットの整備】 公園内に新たなフォトスポットを整備し、PR力の強化、公園利用の拡充を図る。	整備予定 6月
【大池植栽の充実】 魅力ある植栽と水質改善を両立できるよう、適正外の植栽の間引きやスイレンの花色のバリエーションを増やすことで、公園利用者へのサービス向上を図る。	適正外植栽の間引き 年3回 スイレン新品種 5品種

## 2 展示活動事業 (公2・3 指定管理事業)

「那珂川から世界の川、そして憧れの海へ」をテーマに、自然環境や生物多様性を伝えるため、那珂川とアマゾン川の魚類展示を中心に、植物、両生類、爬虫類などが一体となった生息環境を再現した展示を行う。また、展示の魅力向上及び多様性の可視化をコンセプトとした、那珂川コーナーの新水槽導入のための準備を行う。さらに、利用者の満足度向上を図るため、老朽し古くなったパネル情報の更新や、展示効果向上のための水槽照明設備の整備を行う。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【常設展示】</p> <p>地域に生息する水生生物への興味や関心を深めると共に、世界の生物多様性の魅力を体感できる展示を行う。那珂川やアマゾン川の魚類を中心に水生昆虫、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類等の多様な生物を紹介する。</p>	<p>展示種数 390種</p>	<p>380種</p>
<p>【企画展】</p> <p>R8春：魚のフシギ大解明！  R8夏：開園25周年記念企画展 金魚展×深堀隆介（仮）  R8冬：ライトアクアリオ（仮）  R9春：古代生物展（仮）</p>  <p>「R8春の企画展 魚のフシギ大解明！」</p>	<p>開催日数 計151日  春 ~5/6 31日開催 37,600人  夏 7/15~8/31 48日開催 79,600人  冬 11/20~1/24 56日開催 32,600人  春 3/12~ 16日開催 16,000人</p>	<p>142日  29,807人  77,959人  29,917人  15,600人</p>
<p>【特別展示】</p> <p>紅葉や干支、雑祭りなど時候や季節感にあわせた展示に加え、県内で発見された貴重な生物を特別展示することで、生き物への興味と関心を深める。</p> <p>また、大人層の利用促進につながる話題性を創出し、誘客を図る。</p>  <p>「秋の特別展示 収穫の秋」</p>	<p>特別展示開催 6回</p>	<p>5回</p>
<p>【展示解説プログラム】</p> <p>水族館の魅力を深く体験できるプログラムとして、魚館の裏側をガイドするバックヤードツアーやピラルクー等の給餌解説を実施する。さらに、情報を分かりやすく伝えるため、解説板等のデジタル化と内容の更新を推進する。加えて、飼育員ならではの視点を活かしたスタッフトリビアを設置し、利用者に新たな発見を提供する。</p>	<p>ツアー 200回 2,400人  給餌解説 25回/月  スタッフトリビア 60回</p>	<p>180回 2,160人  25回/月  60回</p>
<p>【調査・研究】</p> <p>那珂川流域をはじめ、地域の生物や自然環境に関する調査を継続的に実施する。さらに、ミヤコタナゴやイトヨなど希少生物の安定した繁殖技術の研究にも取り組み、生物多様性の保全に貢献する。</p>	<p>生物相調査実施 12回</p>	<p>10回</p>

### 3 体験交流事業 (公2・3 指定管理事業)

地域の滞在型観光のコンテンツの一つとしての役割を担うため、周辺施設との連携体験のほか、農村の文化や様々な地域資源を活用した水族館ならではの体験など楽しみながら学ぶことができる1,084回の多様な体験講座や釣り体験を企画運営する。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【創作工房】</p> <p>幅広い年齢層を対象に、烏山和紙や竹細工など地域の伝統文化を気軽に体験できる講座のほか、石や花など自然物を材料にした講座などを開催する。さらに、従来よりも完成度の高い作品が作れる大人向け講座を開催する。</p>  <p>「睡蓮染め」</p>	<p>講座開催</p> <p>435回 6,273名</p>	<p>402回 5,739名</p>
<p>【味わい工房】</p> <p>田舎まんじゅうや柏餅など昔ながらのお菓子や地粉を使ったピザやソーセージ作りなど、地域資源を活用した体験に加え、水族館らしく生物をモチーフにしたスイーツなどの料理講座を開催する。</p>  <p>「アウトドアピザ」</p>	<p>講座開催</p> <p>265回 2,839名</p>	<p>255回 2,914名</p>
<p>【おさかな研究室】</p> <p>ズーコン釣りや砂金取りなど川での体験のほか、生き物の解剖実験やウミホタル発光実験など、生き物への理解を深められる講座を開催する。また、透明標本作りなど大人向けの講座も開催する。</p>  <p>「透明標本作り」</p>	<p>講座開催</p> <p>384回 4,128名</p>	<p>454回 5,637名</p>
<p>【釣り池】</p> <p>通年の五目釣りや冬季は特産のヤシオマス、銀桜サーモンなどのマス釣り、夏季はザリガニ釣りなど、子どもから大人まで手軽に楽しめる釣り体験を開催し、栃木の水産産業の振興や釣りの魅力の普及に繋げる。また、高まるニーズに対応して、ザリガニつり池を2面に増築する。</p>  <p>「ザリガニつり池」</p>	<p>体験者数</p> <p>五目釣り 11,750名 マス釣り 1,335名 ザリガニ釣り 3,250名</p>	<p>12,131名 1,360名 2,386名</p>

#### 4 教育普及活動事業 (公2・3 指定管理事業)

これまで水遊園で培ってきたノウハウと地域資源やネットワークを複合的に活用することで、改めて環境教育拠点としての機能を発揮し、地域の自然環境を次世代へつなぐために、地域の自然とSDGsについて体験や学びを提供する新たな事業に取り組む。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【一般対象解説プログラム】 入館者を対象に、生き物や自然環境に関するガイダンスを行い、展示生物の理解促進、環境教育啓発を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>「バびっこ紙芝居」</span> <span>「おしゃべりうむ」</span> </p>	15回 300名	13回 200名
<p>【教育機関連携プログラム】 来園団体や地域の小学校等を対象に、地域の環境とSDGsに関するガイダンスなど環境教育プログラムの実施や活動支援を行う。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">「小学校出張授業」</p>	プログラム実施 10回 500名  ワークシート作成 2回 3,500名	4回 173名  2回 3,565名
<p>【地域連携環境保全活動事業】 地域の自治体や関係団体等とともに、希少生物の保護活動や外来生物の駆除活動に取り組む。また、「みんなの那珂川プロジェクト」として、地域の環境保全の普及啓発と住民の郷土愛を育むため、流域の各種団体と連携し、沿川の清掃活動や外来植物の駆除を行う。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">「ザリガニ駆除活動」</p>	生き物調査講師 10回 450名  保護・駆除活動実施 10回  清掃活動 2回 150名	9回 350名  4回  2回 156名
<p>【環境教育拠点整備事業】 本年度、環境省の自然共生サイトへの認定登録を目指し、有識者の協力を得ながら環境教育拠点としてビオトープの整備を進めつつ、整備地を活用した生物調査を一般参加プログラムとして行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>「ビオトープイメージ図」</span> <span>「河川整備研修会」</span> </p>	有識者との整備 3回  プログラム実施 20回 200名	6回  32回 396名

## 5 地域交流等活動事業 (公2・3 指定管理事業)

なかがわ水遊園が那珂川沿川地域活性化の拠点施設としての一翼を担うため、自治体・関連施設、地域住民等と連携し、地場産業や観光等の地域振興を図る。地域資源の積極的な紹介や地域内周遊につながるイベント・企画を通じて、ヒト・モノ・コトが融合した持続的に発展できる地域社会の構築に資する。また、開園25周年の節目を迎えるにあたり記念事業を実施するほか「ネオカルチャー企画」として新規顧客層をターゲットとした事業を展開していく。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【25周年記念事業】(新規)</p> <p>周年を記念した様々なイベント行うほか、県内25市町との連携企画等の実施を目指すことで、県内全域における地域活性化を促す。また、「地域に根差した水族館モデルの確立」に向け、30周年に向けたビジョンを発表する。</p>	<p>周年イベント 20件</p> <p>連携企画 1件</p>	—
<p>【ネオカルチャー企画】(新規)</p> <p>持続発展的な経営を期する為、「バーチャルキャラクター」「コスプレ」等を活用したイベントを企画し、新規利用者層の開拓と多様な利用者へのサービス向上を図る。</p> <div data-bbox="735 730 943 931" data-label="Image"> </div> <p>「バーチャルキャラ：友釣りりん」</p>	<p>関連イベント 3件</p>	—
<p>【那珂川大感謝祭】</p> <p>地域の商工観光団体や那珂川あゆ街道等との連携により周辺施設の紹介や地域情報発信等を行う。</p>	<p>開催時期 9月</p>	
<p>【那珂川いいところ応援&amp;探検隊】</p> <p>「那珂川いいところ応援&amp;探検隊：NiCE!」として周辺施設、名所、グルメなどスタッフが取材した情報を観光情報掲示板や公式HP、SNSで発信する。</p>	<p>掲示板 90件</p> <p>HP掲載 40件</p> <p>SNS等発信 40回</p>	<p>90件</p> <p>35件</p> <p>40回</p>
<p>【ぐるっとチケット】</p> <p>地域内周遊を促進するため、水遊園の割引券「ぐるっとチケット」を周辺施設等に配布し、公式HPで設置施設を紹介することで地域内周遊を図る。併せて、水遊園において周辺施設の割引券「ぐるっとチケットプラス」を配布する。</p> <div data-bbox="687 1357 963 1554" data-label="Image"> </div> <p>「ぐるっとチケット」</p>	<p>ぐるっとチケット 利用者 6,000人</p> <p>ぐるっとチケット プラス 利用者 300人</p>	<p>5,400人</p> <p>150人</p>
<p>【那珂川三十六景】</p> <p>那珂川あゆ街道推進協議会等と連携し、地域内周遊の起点となるよう那珂川流域のビュースポットを名所として選定し、情報発信する。</p>	<p>フォトコンテスト 応募 100点</p>	64点
<p>【地域イベント共催】</p> <p>地域団体等との連携企画として地域周遊自転車イベント「ツール・ド・大那」や公園内での「グラウンドゴルフ大会」などを開催する。</p> <div data-bbox="691 1760 963 1966" data-label="Image"> </div> <p>「ツール・ド・大那」</p>	<p>共催イベント 18回</p>	13回

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【地域イベント誘致】</p> <p>天狗王国まつりやメーデーなど地域の自治体や各種団体等による地域イベントの会場として水遊園を積極的に活用してもらうことで地域連携強化を図る。</p>  <p>「メーデー」</p>	<p>誘致イベント</p> <p>15回</p>	<p>12回</p>

## 6 広報活動事業 (公2・3 指定管理事業)

令和8年度上期に放送される連続テレビ小説「風、薫る」の舞台が大田原市であることから、地元との連携を一層強化し、地域全体の魅力発信に努める。プレスリリースの発信やロケ地などの情報発信を積極的に行い、メディア露出を増やすことで、水遊園の認知度向上と集客促進を図る。

さらに、SNSでの発信力を高めるため、地域や観光に関心の高いインフルエンサーとのタイアップを実施し、体験レポートや動画配信を通じて、水遊園の魅力を広く拡散し、特に若年層や新規層への集客アップを目指す。

これらの取り組みを通じて、25周年を契機とした水遊園のブランド価値向上と、地域と共に歩む姿勢を強く打ち出し、持続的な集客基盤の構築を目指す。

事業内容	R8計画	R7見込
<p>【ホームページ】</p> <p>水遊園や周辺地域への誘客を図るため、展示情報、体験やイベント募集、地域周遊おすすめプランなどの魅力を発信するメイン媒体として運用する。また、WEB広告やSNSを活用し、ホームページへのアクセスを促進する。</p>  <p>「トップページ」</p>	<p>HP 表示回数</p> <p>270万回</p>	<p>260万回</p>
<p>【SNS・動画配信等】</p> <p>来園動機を高めるために、XやInstagramなどのSNSおよび動画配信を活用し、水遊園の情報や魅力を幅広い世代やエリアに発信する。</p>  <p>「Youtube」</p>  <p>「Instagram」</p>	<p>X</p> <p>フォロワー</p> <p>16,500人</p> <p>年間投稿数</p> <p>500回</p> <p>Instagram</p> <p>フォロワー</p> <p>11,000人</p> <p>年間投稿数</p> <p>280回</p> <p>YouTube</p> <p>年間配信数</p> <p>36回</p>	<p>15,200人</p> <p>600回</p> <p>8,500人</p> <p>240回</p> <p>36回</p>
<p>【園外出展】</p> <p>地域の集客施設や FIGHT11キャンペーンにキャラクターグリーティングなどで出展し、水遊園のPRを行うことで、集客および地域連携の強化につなげる。</p> <p>※FIGHT11：北関東・東北の動物園水族館11園館の連携ユニット</p>  <p>「なかつぴーグリーティング」</p>	<p>出展回数</p> <p>15回</p>	<p>13回</p>

## 収益事業 1

### I 物品販売事業

とちぎ花センター及びなかがわ水遊園で、関連商品や飲食物の販売を行い、来園者に対しサービスの提供に努める。

#### (1) とちぎ花センター物品販売事業

事業名	事業内容	R8計画	R7見込
1 花き類販売事業	<p>県内産花きや季節の花などの販売を行う「とちはなちゃんのお花屋さん」の運営を行う。</p>  <p>「お花屋さん」</p>	<p>年間売上 47,000 千円</p>	44,925 千円
2 飲食施設事業	<p>来園者に飲み物や食事を提供する「花カフェ」の運営を行う。</p>  <p>「オジ カフェ：この外はどれだりト」</p>	<p>年間売上 16,000 千円</p>	14,862 千円
3 体験等開催事業	<p>季節の花苗を使った寄せ植えや、100 種類のプリザーブドフラワーから選べるハーバリウムなどの「体験講座」を開催する。</p>  <p>「体験教室」</p>	<p>年間売上 8,520 千円</p>	7,352 千円

(2) なかがわ水遊園物品販売事業

事業名	事業内容	R8計画	R7見込
1 ショップ事業	<p>ミュージアムショップ「フィッシュパル」において、水族館および地域商品の販売・企画を行う。</p>  <p>「地域商品の販売」</p>	<p>年間売上 117,600 千円 客単価 2,240 円</p>	<p>114,601 千円 2,231 円</p>
2 喫茶事業	<p>「食とつながる ひろがる なかカフェ」としてリニューアルし、地域特産品を活用したメニュー展開により、地域の魅力を発信するアンテナショップ機能の強化を図る。</p>  <p>「北限の紅茶」(大田原市)</p>	<p>年間売上 24,000 千円 客単価 1,420 円</p>	<p>20,826 千円 1,452 円</p>
3 屋外売店事業	<p>「味処ゆづかみ」および「つり池キッチン」において、手打ちそば、季節野菜、川魚などの地場産食材を活用した料理を提供する。</p>  <p>「地粉手打ちそば」</p>	<p>味処ゆづかみ 年間売上 37,500 千円 客単価 1,250 円</p> <p>つり池キッチン 年間売上 5,390 千円 客単価 700 円</p>	<p>35,272 千円 1,204 円</p> <p>4,599 千円 720 円</p>

その他事業 1

I 就農支援資金貸付金回収事業

「青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法」(平成 26 年 4 月 1 日廃止)に基づき、認定就農者に対して貸付けた資金の回収業務を実施する。

## 【事業計画を着実に実施していくための取組】

### 1 発信力強化の取組

公社事業の認知度向上を図り、円滑な業務推進に繋げるため、活動内容等をPRする。

事業内容	R8計画
① HP や各種 SNS を活用した情報発信を行う。	SNS発信回数 年100回
② 公社通信として「とちアグ」を定期的に発行し、農業者等へ公社の活動を周知する。	発行回数 年3回

### 2 連携強化の取組

事業を円滑・効率的に進め、情報共有から共同活動へ発展できるよう県や市町、農業士会や4HC 協議会等の農業団体との一層の連携強化に取り組む。

事業内容	R8計画
① 県農政部との意見交換会のほか、県・市町・関係団体等を対象に公社事業説明会を開催する。	情報交換会 4月 事業説明会 4月
② 各々が円滑に事業を進められるよう県・市町・関係農業団体との緊密な連絡調整を推進するとともに、所園のイベント情報を周知PRする。	随時
③ 各農業振興事務所及び全市町を対象にキャラバンを実施する。	実施時期 7～8月

### 3 意識改革の取組

「自律的運営体制の充実」と「働き方改革の推進」を柱に意識改革を進めるとともに、職員が自主的に挑戦できる環境を整えることで、モチベーションの向上に取り組む。

事業内容	R8計画
【自律的運営体制の充実】	
① 職員意識の向上に向けた取組（新規） 職員自らが選択して学ぶ研修機会を設け、研修成果を組織全体へ横展開する。	開催頻度 隔月
② 収支改善と組織体制強化に向けた取組（新規） ワーキンググループによる検討を通じて、実効性のある改善計画の立案と実行を推進する。	開催回数 年4回
③ 外部研修の積極的な活用 公社の将来を担う職員を育成するため、職員の階層に応じた外部研修を受講する。	研修予定職員数 9名
【働き方改革の更なる推進】	
① 働きやすい職場環境の整備（新規） 風通しの良いコミュニケーションと信頼関係の強化を図るため、部門を越えた意見交換会を定期的実施する。	開催回数 年4回
② PDCA サイクルによる生産性向上 業務プロセスの見直しと改善を継続的に行うため、定期的なヒアリング・検証・社内共有により、課題の可視化と改善の高速化を進める。	検証回数 年3回 全体共有 年3回
③ 長時間労働の是正 AI を活用した DX を推進し、業務効率化と労働時間の検証を徹底し、マネジメント力の向上を図ることで、ワークインライフを推進する。	所定外労働時間の削減 令和4～6年度平均対比 20%削減

令和8(2026)年度収支予算書  
I 令和8(2026)年度正味財産増減予算書  
令和8(2026)年4月1日から令和9(2027)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和8年度 (A)	令和7年度 (B)	増減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1 1. 経常増減の部			
2 (1) 経常収益			
3 基本財産運用益	12,000	12,000	0
4 基本財産受取利息	12,000	12,000	0
5 特定資産運用益	14,923,000	11,406,000	3,517,000
6 特定資産受取利息	14,923,000	11,406,000	3,517,000
7 事業収益	2,705,327,000	2,663,430,000	41,897,000
8 農地中間管理事業収益	1,186,000,000	1,006,980,000	179,020,000
9 農地売買等事業収益	550,196,000	709,030,000	△ 158,834,000
10 新規就農者育成確保事業収益	18,414,000	18,862,000	△ 448,000
11 農業後継者育成確保基金事業収益	0	0	0
12 農業経営・就農支援センター事業収益	18,414,000	18,862,000	△ 448,000
13 農業農村活力支援事業収益	20,793,000	20,405,000	388,000
14 食と農の理解促進事業収益	2,908,000	1,927,000	981,000
15 農山漁村活力向上事業収益	17,885,000	18,478,000	△ 593,000
16 とちぎ花センター管理運営等事業収益	164,296,000	161,405,000	2,891,000
17 なかがわ水遊園管理運営等事業収益	509,618,000	506,788,000	2,830,000
18 とちぎ花センター物品販売事業収益	71,520,000	75,340,000	△ 3,820,000
19 なかがわ水遊園物品販売事業収益	184,490,000	164,620,000	19,870,000
20 受託事業収益	0	0	0
21 受取補助金等	1,029,625,000	987,862,000	41,763,000
22 受取県補助金	248,607,000	259,041,000	△ 10,434,000
23 受取市町補助金	451,465,000	406,354,000	45,111,000
24 受取負担金	329,553,000	322,467,000	7,086,000
25 受取寄付金	0	3,525,000	△ 3,525,000
26 受取寄附金振替額	0	3,525,000	△ 3,525,000
27 事業外収益	57,000	64,000	△ 7,000
28 雑収入	57,000	64,000	△ 7,000
29 <b>経常収益計</b>	<b>3,749,944,000</b>	<b>3,666,299,000</b>	<b>83,645,000</b>
30 (2) 経常費用			
31 事業費	3,740,453,000	3,650,670,000	89,783,000
32 農地中間管理事業支払賃借料	1,187,470,000	1,008,407,000	179,063,000
33 農地売買事業用地費	523,125,000	677,000,000	△ 153,875,000
34 農地売買等事業支払利息	200,000	207,000	△ 7,000
35 役員報酬	16,137,000	14,951,000	1,186,000
36 嘱託報酬	234,010,000	229,133,000	4,877,000
37 その他報酬	3,047,000	4,554,000	△ 1,507,000
38 職員給与	199,467,000	180,372,000	19,095,000
39 法定福利費	78,013,000	75,909,000	2,104,000
40 退職給与費用	20,396,000	14,777,000	5,619,000
41 賃金	83,714,000	86,213,000	△ 2,499,000
42 報償費	6,883,000	6,854,000	29,000
43 旅費	2,643,000	3,334,000	△ 691,000
44 福利厚生費	1,415,000	1,906,000	△ 491,000
45 食糧費	550,000	537,000	13,000
46 消耗品費	54,121,000	52,312,000	1,809,000
47 燃料費	11,907,000	12,617,000	△ 710,000
48 印刷製本費	8,247,000	8,873,000	△ 626,000
49 光熱水費	81,970,000	85,379,000	△ 3,409,000
50 修繕費	17,096,000	16,700,000	396,000
51 通信運搬費	7,166,000	7,692,000	△ 526,000
52 広告宣伝費	4,515,000	5,582,000	△ 1,067,000
53 手数料	21,824,000	19,450,000	2,374,000
54 保険料	1,613,000	1,601,000	12,000

	科 目	令和8年度 (A)	令和7年度 (B)	増減 (A-B)
56	委託料	226,847,000	258,435,000	△ 31,588,000
57	地代家賃	3,612,000	3,382,000	230,000
58	使用料及び賃借料	22,015,000	19,691,000	2,324,000
59	工事請負費	692,940,000	621,620,000	71,320,000
60	商品仕入れ	139,420,000	128,921,000	10,499,000
61	負担金	4,517,000	3,826,000	691,000
62	補助金等交付金	29,210,000	47,920,000	△ 18,710,000
63	租税公課費	53,577,000	49,404,000	4,173,000
64	減価償却費	2,786,000	3,111,000	△ 325,000
65	管理費	1,104,000	2,028,000	△ 924,000
66	役員報酬	23,000	82,000	△ 59,000
67	嘱託報酬	37,000	231,000	△ 194,000
68	職員給与	72,000	380,000	△ 308,000
69	法定福利費	23,000	125,000	△ 102,000
70	退職給付費用	6,000	25,000	△ 19,000
71	賃金	16,000	68,000	△ 52,000
72	報償費	151,000	160,000	△ 9,000
73	旅費	51,000	48,000	3,000
74	交際費	50,000	50,000	0
75	福利厚生費	54,000	79,000	△ 25,000
76	食糧費	16,000	16,000	0
77	消耗品費	223,000	240,000	△ 17,000
78	印刷製本費	56,000	51,000	5,000
79	光熱水費	1,000	6,000	△ 5,000
80	通信運搬費	21,000	41,000	△ 20,000
81	手数料	6,000	13,000	△ 7,000
82	保険料	1,000	1,000	0
83	委託料	3,000	16,000	△ 13,000
84	使用料及び賃借料	5,000	59,000	△ 54,000
85	負担金	76,000	80,000	△ 4,000
86	租税公課	213,000	257,000	△ 44,000
87	減価償却費	0	0	0
88	経常費用計	3,741,557,000	3,652,698,000	88,859,000
89	評価損益等調整前当期経常増減額	8,387,000	13,601,000	△ 5,214,000
90	基本財産評価損益等	0	0	0
91	特定資産評価損益等	0	0	0
92	投資有価証券評価損益等	0	0	0
93	評価損益等計	0	0	0
94	当期経常増減額	8,387,000	13,601,000	△ 5,214,000
95	2 経常外増減の部			
96	(1) 経常外収益	0	0	0
97	経常外収益計	0	0	0
98	(2) 経常外費用	0	0	0
99	経常外費用計	0	0	0
100	当期経常外増減額	0	0	0
101	他会計振替額	0	0	0
102	当期一般正味財産増減額	8,387,000	13,601,000	△ 5,214,000
103	一般正味財産期首残高	425,781,946	412,180,946	13,601,000
104	一般正味財産期末残高	434,168,946	425,781,946	8,387,000
105	II 指定正味財産増減の部			
106	受取寄附金等	140,000	140,000	0
107	一般正味財産への振替額	0	2,978,000	△ 2,978,000
108	当期指定正味財産増減額	140,000	△ 2,838,000	2,978,000
109	指定正味財産期首残高	983,551,509	986,389,509	△ 2,838,000
110	指定正味財産期末残高	983,691,509	983,551,509	140,000
111	III 正味財産期末残高	1,417,860,455	1,409,333,455	8,527,000

\* 令和7年度欄の一般正味財産期首残高及び指定正味財産期首残高は、令和6年度決算に基づく期末残高を記載している。

II 令和8(2026)年度正味財産増減予算書内訳書

令和8(2026)年4月1日から令和9(2027)年3月31日まで

科 目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	(単位:円)	
	公益目的事業会計												公益目的事業計	収益事業等会計			収益事業計	法人会計	内部取引消去	合計	
	公益目的事業1			公1事業計	公益目的事業2						公2事業計	共通		収益事業1	その他事業	共通					
	農地集積推進事業		畜産・農用地等 基盤整備事業		新規就農者育成確保事業		農業農村活力支援事業		とちぎ花セン ター管理運営等 事業	なかがわ水遊園 管理運営等事業											物品販売事業
農地中間管理 事業	農地売買事業	農業後継者育成 確保基金事業		農業経営・就農 支援センター事業	食と農の理解促 進事業	農山漁村活力向 上事業															
1 I一般正味財産増減の部																					
2 1. 経常増減の部																					
3 (1)経常収益																					
4 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,000	6,000	0	0	0	0	6,000	0	12,000	
5 基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,000	6,000	0	0	0	0	6,000	0	12,000	
6 特定資産運用益	0	0	0	0	12,342,000	0	0	0	0	0	12,342,000	2,484,000	14,826,000	0	0	95,000	95,000	2,000	0	14,923,000	
7 特定資産受取利息	0	0	0	0	12,342,000	0	0	0	0	0	12,342,000	2,484,000	14,826,000	0	0	95,000	95,000	2,000	0	14,923,000	
8 事業収益	1,186,000,000	550,196,000	0	1,736,196,000	0	18,414,000	2,908,000	17,885,000	164,296,000	509,618,000	713,121,000	0	2,449,317,000	256,010,000	0	0	256,010,000	0	2,705,327,000		
9 農地中間管理事業収益	1,186,000,000	0	0	1,186,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,186,000,000	0	0	0	0	0	0	1,186,000,000	
10 農地売買等事業収益	0	550,196,000	0	550,196,000	0	0	0	0	0	0	0	0	550,196,000	0	0	0	0	0	0	550,196,000	
11 新規就農者育成確保事業収益	0	0	0	0	0	18,414,000	0	0	0	0	18,414,000	0	18,414,000	0	0	0	0	0	0	18,414,000	
12 農業後継者育成確保基金事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13 農業経営・就農支援センター事業収益	0	0	0	0	0	18,414,000	0	0	0	0	18,414,000	0	18,414,000	0	0	0	0	0	0	18,414,000	
14 農業農村活力支援事業収益	0	0	0	0	0	0	2,908,000	17,885,000	0	0	20,793,000	0	20,793,000	0	0	0	0	0	0	20,793,000	
15 食と農の理解促進事業収益	0	0	0	0	0	0	2,908,000	0	0	0	2,908,000	0	2,908,000	0	0	0	0	0	0	2,908,000	
16 農山漁村活力向上事業収益	0	0	0	0	0	0	0	17,885,000	0	0	17,885,000	0	17,885,000	0	0	0	0	0	0	17,885,000	
17 とちぎ花センター管理運営等事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	164,296,000	0	164,296,000	0	164,296,000	0	0	0	0	0	0	164,296,000	
18 なかがわ水遊園管理運営等事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	509,618,000	509,618,000	0	509,618,000	0	0	0	0	0	0	509,618,000	
19 とちぎ花センター物品販売事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,520,000	0	0	71,520,000	0	0	71,520,000	
20 なかがわ水遊園物品販売等事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	184,490,000	0	0	184,490,000	0	0	184,490,000	
21 受託事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22 受取補助金等	188,646,000	22,209,000	780,447,000	991,302,000	0	30,746,000	7,577,000	0	0	0	38,323,000	0	1,029,625,000	0	0	0	0	0	0	1,029,625,000	
23 受取県補助金	188,646,000	22,209,000	0	210,855,000	0	30,746,000	7,006,000	0	0	0	37,752,000	0	248,607,000	0	0	0	0	0	0	248,607,000	
24 受取市町補助金	0	0	451,465,000	451,465,000	0	0	0	0	0	0	0	0	451,465,000	0	0	0	0	0	0	451,465,000	
25 受取負担金	0	0	328,982,000	328,982,000	0	0	571,000	0	0	0	571,000	0	329,553,000	0	0	0	0	0	0	329,553,000	
26 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27 受取寄附金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28 事業外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57,000	0	57,000	
29 雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57,000	0	57,000	
30 経常収益計	1,374,646,000	572,405,000	780,447,000	2,727,498,000	12,342,000	49,160,000	10,485,000	17,885,000	164,296,000	509,618,000	763,786,000	2,490,000	3,493,774,000	256,010,000	0	95,000	256,105,000	65,000	0	3,749,944,000	
31 (2)経常費用																					
32 事業費	1,376,772,000	569,992,000	773,130,000	2,719,894,000	7,870,000	50,576,000	20,556,000	20,253,000	180,816,000	509,618,000	789,689,000	0	3,509,583,000	230,869,000	1,000	0	230,870,000	0	0	3,740,453,000	
33 農地中間管理事業支払賃借料	1,187,470,000	0	0	1,187,470,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,187,470,000	0	0	0	0	0	0	1,187,470,000	
34 農地売買事業用地費	0	523,125,000	0	523,125,000	0	0	0	0	0	0	0	0	523,125,000	0	0	0	0	0	0	523,125,000	
35 農地売買等事業支払利息	0	200,000	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	
36 役員報酬	1,065,000	0	351,000	1,416,000	114,000	114,000	0	228,000	5,705,000	6,804,000	12,965,000	0	14,381,000	1,756,000	0	0	1,756,000	0	0	16,137,000	
37 嘱託報酬	43,292,000	9,690,000	15,595,000	68,577,000	1,210,000	4,288,000	2,950,000	3,869,000	33,806,000	95,604,000	141,727,000	0	210,304,000	23,706,000	0	0	23,706,000	0	0	234,010,000	
38 その他報酬	0	0	0	0	0	0	0	2,611,000	0	436,000	3,047,000	0	3,047,000	0	0	0	0	0	0	3,047,000	
39 職員給与	21,643,000	7,436,000	29,655,000	58,734,000	1,409,000	8,152,000	8,085,000	5,984,000	43,094,000	63,488,000	130,212,000	0	188,946,000	10,521,000	0	0	10,521,000	0	0	199,467,000	
40 法定福利費	11,097,000	3,048,000	7,146,000	21,291,000	650,000	3,183,000	2,665,000	1,673,000	14,161,000	26,948,000	49,280,000	0	70,571,000	7,442,000	0	0	7,442,000	0	0	78,013,000	
41 退職給与費用	1,858,000	1,326,000	2,871,000	6,055,000	137,000	986,000	303,000	411,000	5,312,000	7,068,000	14,217,000	0	20,272,000	124,000	0	0	124,000	0	0	20,396,000	
42 賃金	4,981,000	3,058,000	247,000	8,286,000	80,000	2,423,000	0	160,000	19,863,000	22,473,000	44,999,000	0	53,285,000	30,429,000	0	0	30,429,000	0	0	83,714,000	
43 報償費	760,000	104,000	36,000	900,000	11,000	2,140,000	760,000	1,745,000	1,024,000	227,000	5,907,000	0	6,807,000	76,000	0	0	76,000	0	0	6,883,000	
44 旅費	122,000	44,000	354,000	520,000	37,000	370,000	25,000	799,000	65,000	711,000	2,007,000	0	2,527,000	116,000	0	0	116,000	0	0	2,643,000	
45 福利厚生費	0	207,000	71,000	278,000	22,000	22,000	0	44,000	213,000	783,000	1,084,000	0	1,362,000	53,000	0	0	53,000	0	0	1,415,000	
46 食糧費	0	4,000	24,000	28,000	1,000	0	0	1,000	284,000	209,000	495,000	0	523,000	27,000	0	0	27,000	0	0	550,000	
47 消耗品費	5,776,000	442,000	949,000	7,167,000	17,000	353,000	867,000	283,000	7,556,000	33,947,000	43,023,000	0	50,190,000	3,931,000	0	0	3,931,000	0	0	54,121,000	
48 燃料費	108,000	126,000	336,000	570,000	0	0	38,000	0	8,965,000	2,334,000	11,337,000	0	11,907,000	0	0	0	0	0	0	11,907,000	
49 印刷製本費	1,804,000	324,000	173,000	2,301,000	3,000	271,000	106,000	132,000	474,000	4,883,000	5,869,000	0	8,170,000	77,000	0	0	77,000	0	0	8,247,000	
50 光熱水費	504,000	242,000	300,000	1,046,000	6,000	414,000	1,422,000	12,000	9,536,000	66,044,000	77,434,000	0	78,480,000	3,490,000	0	0	3,490,000	0	0	81,970,000	
51 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	2,766,000	14,050,000	16,816,000	0	16,816,000	280,000	0	0	280,000	0	0	17,096,000	
52 通信運搬費	1,776,000	770,000	228,000	2,774,000	179,000	266,000	366,000	148,000	637,000	2,574,000	4,170,000	0	6,944,000	221,000	1,000	0	222,000	0	0	7,166,000	
53 広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	4,075,000	4,125,000	0	4,125,000	390,000	0	0	390,000	0	0	4,515,000	
54 手数料	9,248,000	1,073,000	232,000	10,553,000	33,000	132,000	78,000	278,000	1,193,000	6,662,000	8,376,000	0	18,929,000	2,895,000	0	0	2,895,000	0	0	21,824,000	
55 保険料	96,000	85,000	203,000	384,000	1,000	71,000	46,000	1,000	378,000	562,000	1,059,000	0	1,443,000	170,000	0	0	170,000	0	0	1,613,000	

科 目	公益目的事業会計												公益目的事業計	収益事業等会計			収益事業計	法人会計	内部取引消去	合計	
	公益目的事業1			公1事業計	公益目的事業2						公2事業計	共通		収益事業1	その他事業	共通					
	農地集積推進事業		畜産・農用地等 基盤整備事業		新規就農者育成確保事業		農業農村活力支援事業		とちぎ花セン ター管理運営等 事業	なかがわ水遊園 管理運営等事業				物品販売事業	貸付資金回収 事業						
	農地中間管理 事業	農地売買事業			農業後継者育成 確保基金事業	農業経営・就農 支援センター事業	食と農の理解促 進事業	農山漁村活力向 上事業						物品販売事業	貸付資金回収 事業						
56 委託料	80,057,000	11,612,000	19,171,000	110,840,000	21,000	22,000	2,200,000	186,000	10,568,000	101,850,000	114,847,000	0	225,687,000	1,160,000	0	0	1,160,000	0	0	226,847,000	
57 地代家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,612,000	0	0	0	3,612,000	0	0	3,612,000
58 使用料及び賃借料	4,995,000	1,630,000	2,069,000	8,694,000	36,000	1,692,000	209,000	379,000	1,610,000	7,646,000	11,572,000	0	20,266,000	1,749,000	0	0	1,749,000	0	0	22,015,000	
59 工事請負費	0	0	692,090,000	692,090,000	0	0	0	0	0	850,000	850,000	0	692,940,000	0	0	0	0	0	0	692,940,000	
60 商品仕入れ	0	0	0	0	0	0	0	0	2,420,000	7,255,000	9,675,000	0	9,675,000	129,745,000	0	0	129,745,000	0	0	139,420,000	
61 負担金	0	1,151,000	320,000	1,471,000	47,000	27,000	0	54,000	418,000	2,309,000	2,855,000	0	4,326,000	191,000	0	0	191,000	0	0	4,517,000	
62 補助金等交付金	0	0	0	0	3,710,000	25,500,000	0	0	0	0	29,210,000	0	29,210,000	0	0	0	0	0	0	29,210,000	
63 租税公課費	100,000	4,295,000	709,000	5,104,000	146,000	150,000	436,000	1,255,000	9,547,000	29,200,000	40,734,000	0	45,838,000	7,739,000	0	0	7,739,000	0	0	53,577,000	
64 減価償却費	20,000	0	0	20,000	0	0	0	0	1,171,000	626,000	1,797,000	0	1,817,000	969,000	0	0	969,000	0	0	2,786,000	
65 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,104,000	0	1,104,000	
66 役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,000	0	23,000	
67 嘱託報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37,000	0	37,000	
68 職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000	
69 法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,000	0	23,000	
70 退職給与費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,000	0	6,000	
71 賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,000	0	16,000	
72 報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151,000	0	151,000	
73 旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,000	0	51,000	
74 交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000	
75 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54,000	0	54,000	
76 食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,000	0	16,000	
77 消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	223,000	0	223,000	
78 印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56,000	0	56,000	
79 光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	
80 通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,000	0	21,000	
81 手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,000	0	6,000	
82 保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	
83 委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000	0	3,000	
84 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000	
85 負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76,000	0	76,000	
86 租税公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	213,000	0	213,000	
87 減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
88 経常費用計	1,376,772,000	569,992,000	773,130,000	2,719,894,000	7,870,000	50,576,000	20,556,000	20,253,000	180,816,000	509,618,000	789,689,000	0	3,509,583,000	230,869,000	1,000	0	230,870,000	1,104,000	0	3,741,557,000	
89 評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,126,000	2,413,000	7,317,000	7,604,000	4,472,000	△ 1,416,000	△ 10,071,000	△ 2,368,000	△ 16,520,000	0	△ 25,903,000	2,490,000	△ 15,809,000	25,141,000	△ 1,000	95,000	25,235,000	△ 1,039,000	0	8,387,000	
90 基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
91 特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
92 投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
93 評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
94 当期経常増減額	△ 2,126,000	2,413,000	7,317,000	7,604,000	4,472,000	△ 1,416,000	△ 10,071,000	△ 2,368,000	△ 16,520,000	0	△ 25,903,000	2,490,000	△ 15,809,000	25,141,000	△ 1,000	95,000	25,235,000	△ 1,039,000	0	8,387,000	
95 2 経常外増減の部																					
96 (1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
97 経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
98 (2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
99 経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
100 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
101 他会計振替額	0	0	0	0	0	1,416,000	6,012,000	2,368,000	6,013,000	0	15,809,000	0	15,809,000	△ 16,753,000	0	△ 95,000	△ 16,848,000	1,039,000	0	0	
102 当期一般正味財産増減額	△ 2,126,000	2,413,000	7,317,000	7,604,000	4,472,000	0	△ 4,059,000	0	△ 10,507,000	0	△ 10,094,000	2,490,000	0	8,388,000	△ 1,000	0	8,387,000	0	0	8,387,000	
103 一般正味財産期首残高													241,205,277				110,692,921	73,883,748	0	425,781,946	
104 一般正味財産期末残高													241,205,277				119,079,921	73,883,748	0	434,168,946	
105 II 指定正味財産増減の部																					
106 受取寄附金等													140,000				0	0	0	140,000	
107 一般正味財産への振替額													0				0	0	0	0	
108 当期指定正味財産増減額													140,000				0	0	0	140,000	
109 指定正味財産期首残高													983,551,509				0	0	0	983,551,509	
110 指定正味財産期末残高													983,691,509				0	0	0	983,691,509	
111 III 正味財産期末残高													1,224,896,786				119,079,921	73,883,748	0	1,417,860,455	

### Ⅲ 借入金及び借入限度額

令和8（2026）年度の長期借入金及び借入限度額を次のとおり定める。

（単位：千円）

事業区分	借入先	令和8（2026）年度 借入額		借入限度額
農地売買等事業資金	(公社)全国農地保有合理化協会/ (株)足利銀行	新規借入額	523,125	1,300,000
		既借入額	84,033	

### Ⅳ 基本財産等運用方針

公益財団法人栃木県農業振興公社資産管理運用規程第3条第1項の規定に基づき、令和8（2026）年度における基本財産等の運用については原則として下表のとおりとする。

なお、満期が到来する債券に係る資金については、より有利な運用が行えるよう努めていく。

（単位：千円）

資産区分及び運用金額	運用方法	運用期間	予定金利
基本財産 9,900	地方債	10年	0.125%
農業後継者育成基金 998,963	地方債	20年	2.457%~2.538%
	栃木県債	10年	0.190%
	財投機関債	15年	0.713%
	社債	10~20年	0.435%~1.600%
	定期預金	1年	0.125%~0.250%

### Ⅴ 資金調達及び設備投資の見込みについて

#### (1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額		使途	
公1	(公社)全国農地保有合理化協会	433,125,000円		農地売買等事業資金	
	(株)足利銀行	90,000,000円		農地売買等事業資金	

#### (2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は所得資金の使途	